

令和4年度 学修行動や満足度等に関する間接評価調査（学生 IR 調査）

実施日	歯科衛生学科 1年次	令和4年10月19日		
	歯科衛生学科 2年次	令和4年10月17日		
	歯科衛生学科 3年次	令和4年10月17日		
調査人数	歯科衛生学科 1年次	64/64名		
	歯科衛生学科 2年次	45/58名		
	歯科衛生学科 3年次	41/43名	合計	150/165名

1. 全体概要

1) 令和4年度の講義状況について

令和4年度の講義は、すべて対面授業で実施した。9:30 講義開始、80分授業で行った。

2) 調査の全体概要

3) 本学の学生は、福岡県出身が多く、自宅から通学する学生が多いと考えられる。

4) 大学生活の目的に関しては、「学歴や資格を得る」が最も多く(66.7%, 100名)、次いで「専門的な研究や知識を身につける」、「希望する職業に就く」が主な目的であり、歯科衛生士の免許取得が重要な目的として挙げられている。

5) 教育内容の満足度について、専門教育や学科の授業、将来の仕事と授業内容の結びつき、他の学生とのコミュニケーションの機会などに対して高い満足度が示されている。

6) 設備や学生支援制度に対する満足度では、特に実習室の設備や器具、健康・保健サービスに対して高い満足度が示されている。特に実習室の改修や福岡歯科大学医科歯科総合病院への受診補助制度の開始が満足度向上に寄与していると考えられる。

7) 卒業後の進路に備えて大学在学中に経験したいことに対しては、全体的に学生が前向きな意欲を持っており、経験を積むことに積極的であることがわかる。

以上のことから、本学学生は、概ね学校生活に満足している。特に、設備や学生支援制度に対する満足度は上昇している。歯科衛生士の免許取得が重要な目的であり、全体的に学生が前向きな意欲をもって真面目に取り組んでいる。

2. 調査結果の概要

I. 現在の学生生活について

本学の学生は、福岡県出身が全体の62.7% (94名) で最も多く、次いで佐賀県、大分県・山口県が多いことが分かる。学生の62.0% (93名) が家族または親戚と暮らしており、自宅から通学する学生が多いと考えられる。奨学金は学生の54.0% (81名) が利用している。

大学生活の目的に関しては、「学歴や資格を得る」が最も多く(66.7%, 100名)、次いで「専門的な研究や知識を身につける」、「希望する職業に就く」が主な目的であり、歯科衛生士の免許取得が重要な目的として挙げられている。

II.大学の学習状況について

1) 大学の授業の内容や特徴

大学の授業の内容や特徴についてのアンケート結果では、仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ、学内・学外実習を実施し、体験的に学ぶ、出席が重視されると答えた学生が多い。一方で、課題発見・解決につながる能力を伸ばすための授業設計が不十分であることが課題とされている。

2) 大学の授業や授業以外の学習状況

大学の授業以外の学習状況については、学生は課題の締め切りを守り、授業を欠席することは少ない傾向にある。課題学習のためには主に Web 上の情報を利用しており、教員への相談は少ない。提出課題の内容については、Web 上の情報の信憑性を教員が確認する必要がある。

3) 活動に費やしている 1 週間あたりの時間数

活動に費やしている 1 週間あたりの時間数では、講義や実習に 20 時間以上費やす学生が多かった。一方で、オフィスアワーや部活動・同好会、読書をする時間は少ない。

4) 入学時点と比べた能力や知識の変化

入学時点と比べた能力や知識の変化について、多くの学生が大学生活を通じて一般的な教養や専門知識、人間関係の構築や協力能力を向上させたと回答している。しかし、外国語の運用能力や数理的な能力は減少したと答える学生も多かった。

III. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

学内の実習には 62.7% (94 名) の学生が意欲的に取り組んでいると回答している。

IV. 大学生活に対する考えや満足度について

1) 大学生活への円滑な移行

大学生活への円滑な移行に関しては、半数以上の学生が「いくらかうまくいった」または「とてもうまくいった」と回答している。特に、他の学生との友情を深めることに関しては 87.3% (131 名) がポジティブな回答をしている。

2) 学生生活の充実

学生生活の充実度については、71.3% (107 名) が「充実している」または「まあまあ充実している」と回答している。

3) 教育内容の満足度

教育内容の満足度について、専門教育や学科の授業、将来の仕事と授業内容の結びつき、他の学生とのコミュニケーションの機会などに対して高い満足度が示されている。

4) 設備や学生支援制度の満足度

設備や学生支援制度に対する満足度では、特に実習室の設備や器具、健康・保健サービスに対して高い満足度が示されている。特に実習の改修や福岡歯科大学医科歯科総合病院への受診補助制度の開始が満足度向上に寄与していると考えられる。

V. 卒業後の進路について

「就職する」が 35.3% (53 名)、「専攻科に進学する」が 36.7% (55 名) とほぼ同等の割合であり、卒業後の進路について学生間でバラつきが見られる。

また、将来の見通しを持っていると回答する学生は 94% (141 名) であるが、実際に「何をすべきかをわかっているし、実行もしている」と回答する学生は 19.3% (29 名) にとどまっている。

1) 卒業後の進路のために、大学在学中に経験したいこと

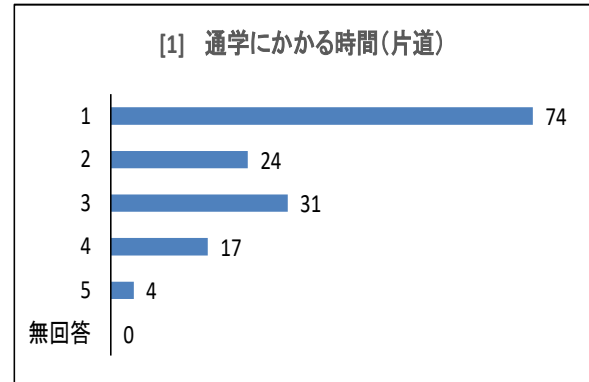
卒業後の進路に備えて大学在学中に経験したいことに対しては、全体的に学生が前向きな意欲を持っており、経験を積むことに積極的であることがわかる。

3. 各項目の調査結果

I. 現在の学生生活について

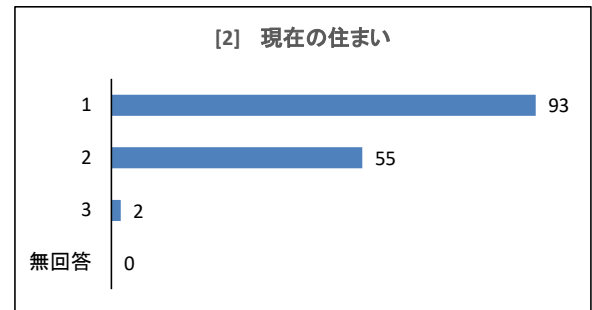
[1] 通学にかかる時間（片道）

項目		人数	%
1	30分未満	74	49.3
2	30分以上～1時間未満	24	16.0
3	1時間以上～1時間30分未満	31	20.7
4	1時間30分以上～2時間未満	17	11.3
5	2時間以上	4	2.7
無回答		0	0.0



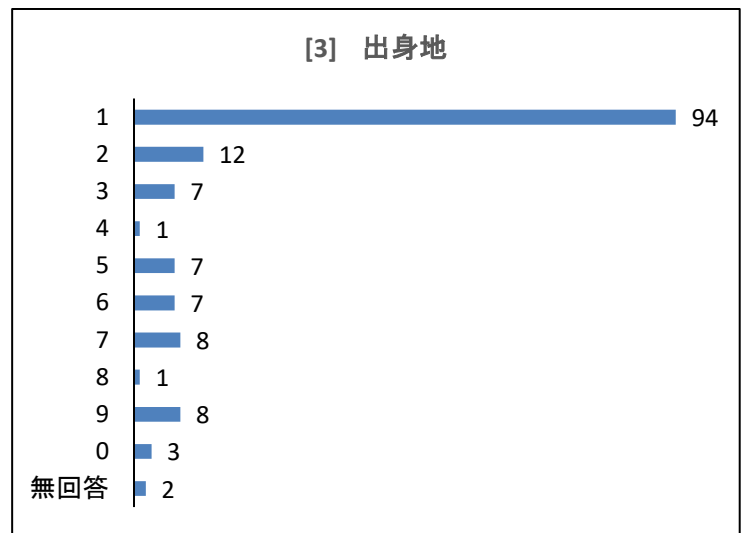
[2] 現在の住まい

項目		人数	%
1	家族 または 親戚と暮らしている	93	62.0
2	アパート・学生マンションでひとり暮らし	55	36.7
3	大学寮や合宿所	2	1.3
無回答		0	0.0



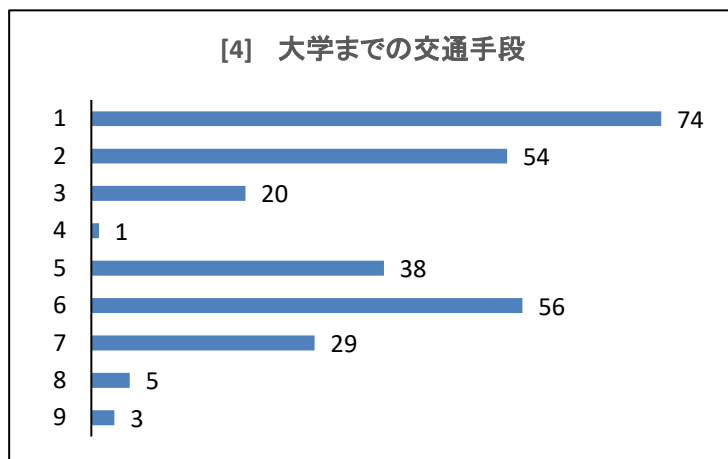
[3] 出身地

項目		人数	%
1	福岡県	94	62.7
2	佐賀県	12	8.0
3	長崎県	7	4.7
4	熊本県	1	0.7
5	宮崎県	7	4.7
6	鹿児島県	7	4.7
7	大分県	8	5.3
8	沖縄県	1	0.7
9	山口県	8	5.3
0	その他	3	2.0
無回答		2	1.3



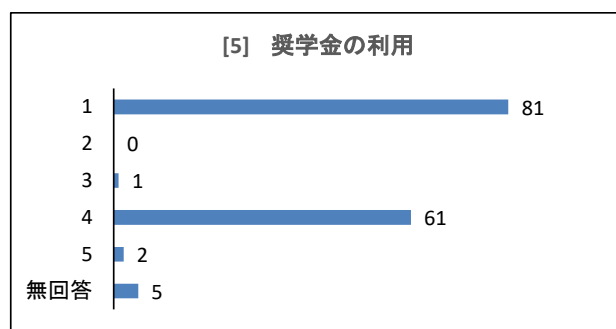
[4]大学までの交通手段（複数回答）

項目		人数	%
1	徒歩	74	49.3
2	自転車	54	36.0
3	自動車	20	13.3
4	バイク	1	0.7
5	鉄道(JR・西鉄)	38	25.3
6	地下鉄	56	37.3
7	バス	29	19.3
8	送迎	5	3.3
9	その他	3	2.0



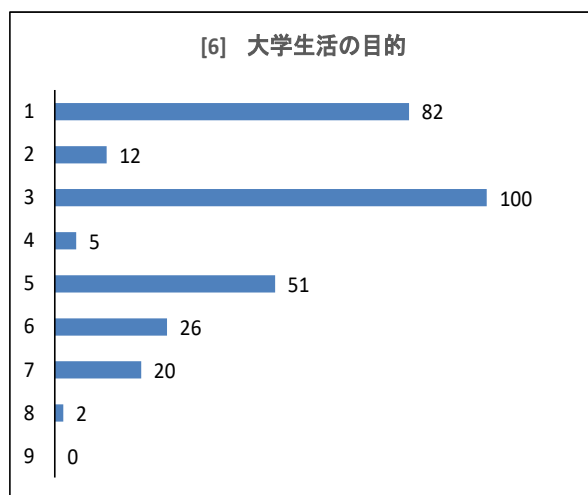
[5]奨学金の利用（複数回答）

項目		人数	%
1	日本学生支援機構の奨学金	81	54.0
2	日本介護福祉士修学資金	0	0.0
3	以前受けていたが今は受けていない	1	0.7
4	受けていない	61	40.7
5	その他	2	1.3
無回答		5	3.3



[6] 大学生生活の目的（複数回答）

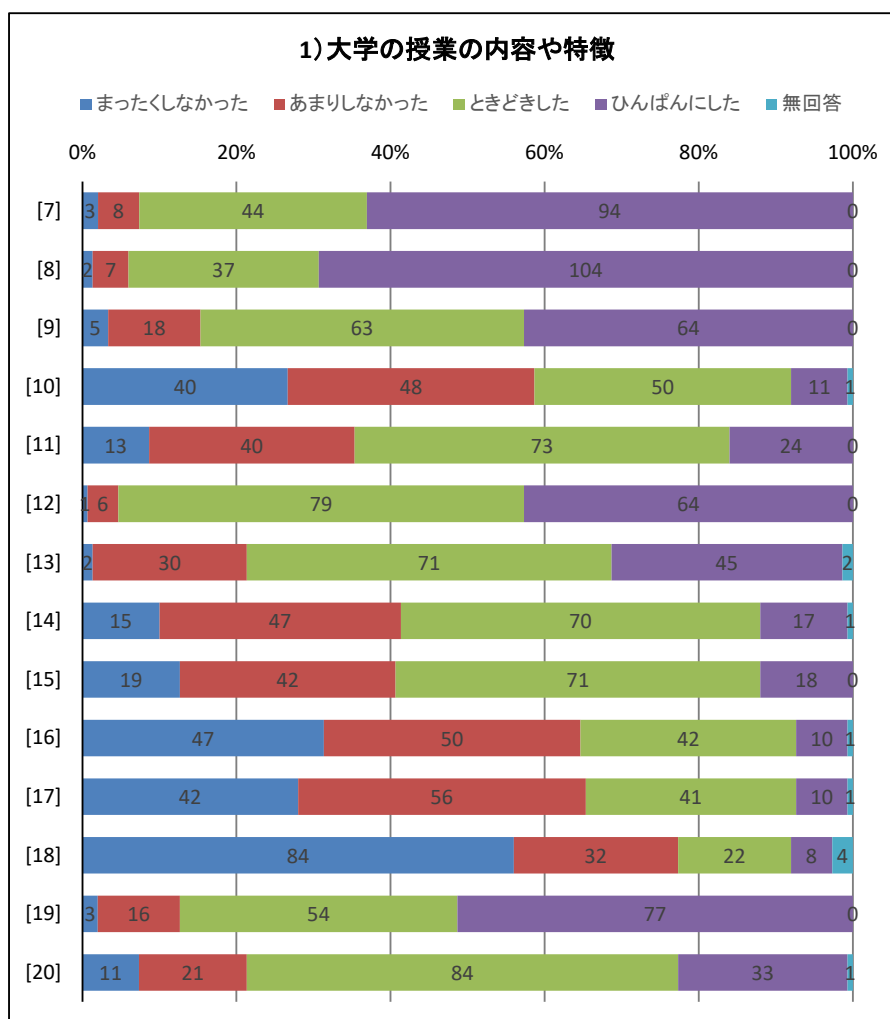
項目		人数	%
1	専門的な研究や知識を身につける	82	54.7
2	豊かな教養を身につける	12	8.0
3	学歴や資格を得る	100	66.7
4	クラブやサークルを楽しむ	5	3.3
5	希望する職業に就く	51	34.0
6	学生生活を楽しむ	26	17.3
7	友達とのかかわりを楽しむ	20	13.3
8	特に目的はない	2	1.3
9	その他	0	0.0



II. 大学の学習状況について

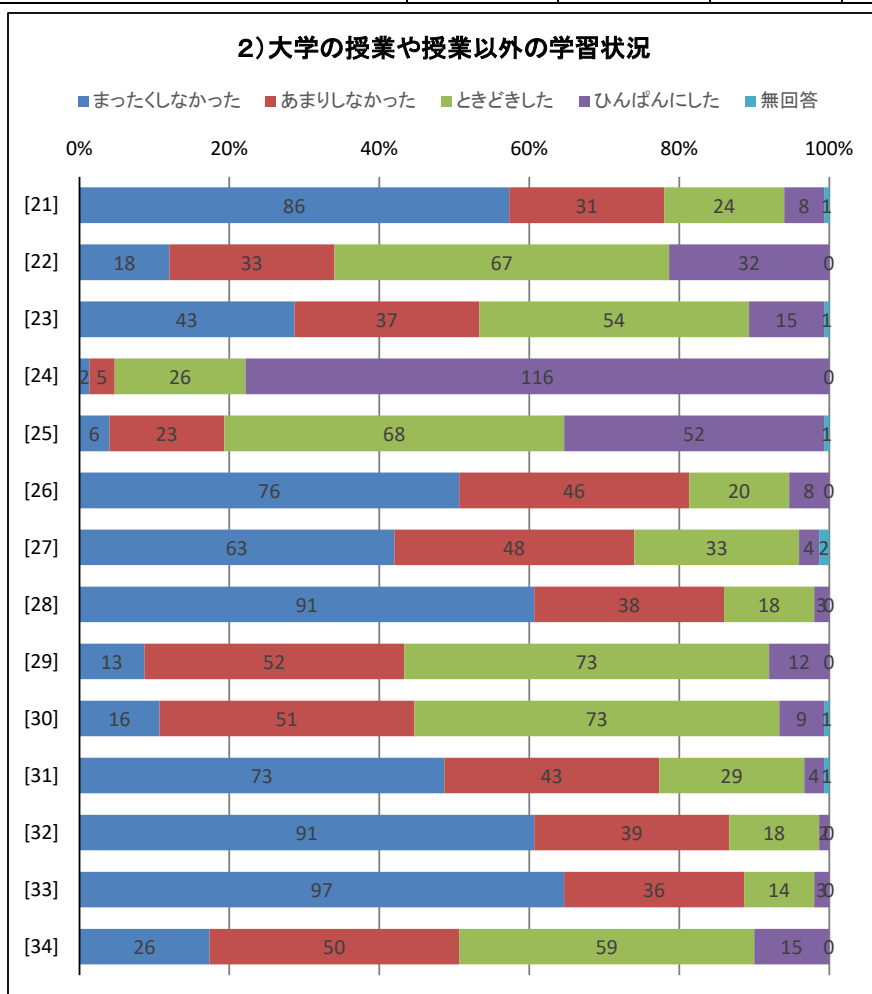
1) 大学の授業の内容や特徴

項目	人数				
	まったく しなかった	あまり しなかった	ときどき した	ひんばん にした	無回答
[7] 所属学科の学内実習、学外実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ	3	8	44	94	0
[8] 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ	2	7	37	104	0
[9] 授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する	5	18	63	64	0
[10] 授業の一環でボランティア活動をする	40	48	50	11	1
[11] 学生自身が文献や資料を調べる	13	40	73	24	0
[12] 定期的に小テストやレポートが課される	1	6	79	64	0
[13] 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する	2	30	71	45	2
[14] 学生が自分の考えや研究を発表する	15	47	70	17	1
[15] 授業中に学生同士が論議をする	19	42	71	18	0
[16] 授業で検討するテーマを学生が設定する	47	50	42	10	1
[17] 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる	42	56	41	10	1
[18] 取りたい授業を履修登録できなかった	84	32	22	8	4
[19] 出席することが重視される	3	16	54	77	0
[20] TA・SA(上級生や専攻科生)から補助・指導を受ける	11	21	84	33	1



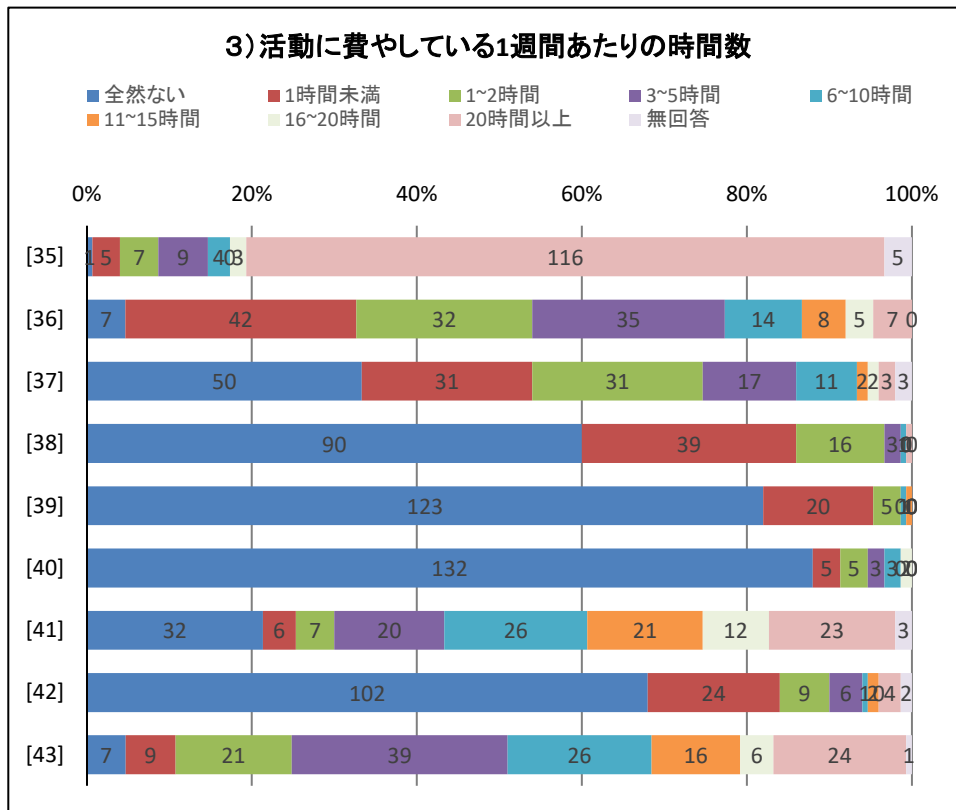
2) 大学の授業や授業以外の学習状況

項目	人数				
	まったくしな かった	あまりしな かった	ときどき した	ひんぱん にした	無回答
[21] 授業課題のために図書館の資料を利用した	86	31	24	8	1
[22] 授業課題のために Web 上の情報を利用した	18	33	67	32	0
[23] インターネットやイントラネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした	43	37	54	15	1
[24] 提出期限までに授業課題を完成した	2	5	26	116	0
[25] 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした	6	23	68	52	1
[26] 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた	76	46	20	8	0
[27] 授業を欠席した	63	48	33	4	2
[28] 授業に遅刻した	91	38	18	3	0
[29] 授業をつまらなく感じた	13	52	73	12	0
[30] 授業中に居眠りをした	16	51	73	9	1
[31] 教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした(オフィスアワーも含める)	73	43	29	4	1
[32] 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した	91	39	18	2	0
[33] 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした(卒業後の進路や職業選択など)	97	36	14	3	0
[34] 教員に親近感を感じた	26	50	59	15	0



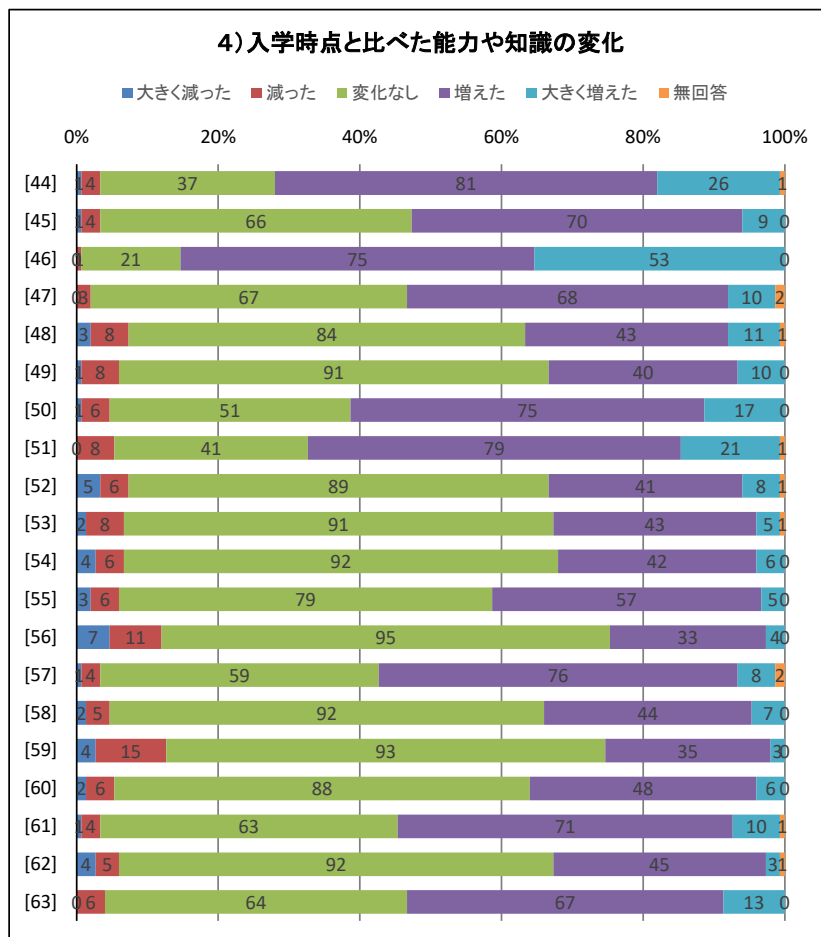
3) 活動に費やしている1週間あたりの時間数

項目	人数									
	全然ない	1時間未満	1~2時間	3~5時間	6~10時間	11~15時間	16~20時間	20時間以上	無回答	
[35] 講義や実習に出席する	1	5	7	9	4	0	3	116	5	
[36] 授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする	7	42	32	35	14	8	5	7	0	
[37] アクティブ・ラーニング科目(学内の演習や学外での実習など)に関する授業外学修時間	50	31	31	17	11	2	2	3	3	
[38] 授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする	90	39	16	3	1	0	0	1	0	
[39] オフィスアワーなど、授業時間以外に教員と面談する	123	20	5	0	1	1	0	0	0	
[40] 部活動や同好会に参加する	132	5	5	3	3	0	2	0	0	
[41] 大学外でアルバイトや仕事をする	32	6	7	20	26	21	12	23	3	
[42] 読書をする(マンガ・雑誌を除く)	102	24	9	6	1	2	0	4	2	
[43] 個人的な趣味活動をする(テレビやゲーム、映画鑑賞など)	7	9	21	39	26	16	6	24	1	



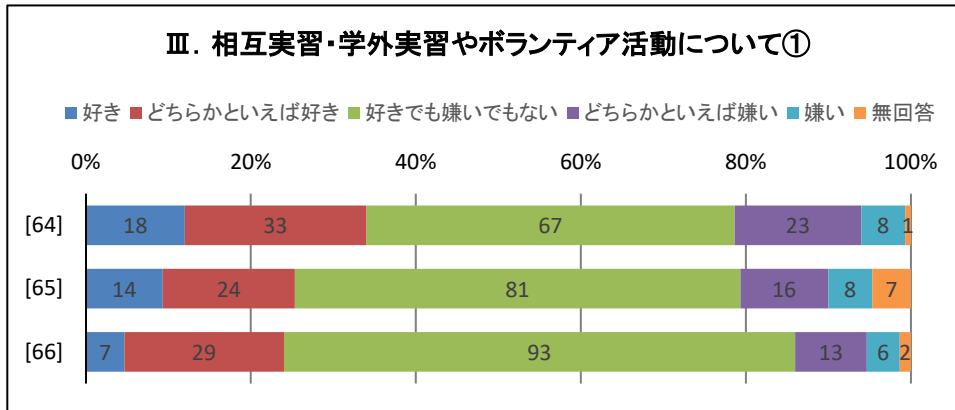
4) 入学時点と比べた能力や知識の変化

項目	人数					
	大きく減った	減った	変化なし	増えた	大きく増えた	無回答
[44]	1	4	37	81	26	1
[45]	1	4	66	70	9	0
[46]	0	1	21	75	53	0
[47]	0	3	67	68	10	2
[48]	3	8	84	43	11	1
[49]	1	8	91	40	10	0
[50]	1	6	51	75	17	0
[51]	0	8	41	79	21	1
[52]	5	6	89	41	8	1
[53]	2	8	91	43	5	1
[54]	4	6	92	42	6	0
[55]	3	6	79	57	5	0
[56]	7	11	95	33	4	0
[57]	1	4	59	76	8	2
[58]	2	5	92	44	7	0
[59]	4	15	93	35	3	0
[60]	2	6	88	48	6	0
[61]	1	4	63	71	10	1
[62]	4	5	92	45	3	1
[63]	0	6	64	67	13	0

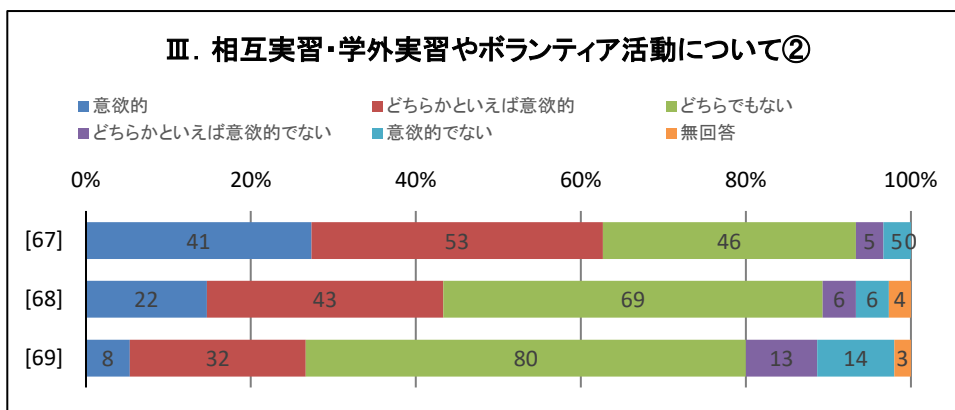


Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

項目		人数					
		好き	どちらかといえば好き	好きでも嫌いでもない	どちらかといえば嫌い	嫌い	無回答
[64]	学内の実習が好きか	18	33	67	23	8	1
[65]	学外(臨床・臨地実習・介護実習等)での実習が好きか	14	24	81	16	8	7
[66]	ボランティア活動が好きか	7	29	93	13	6	2



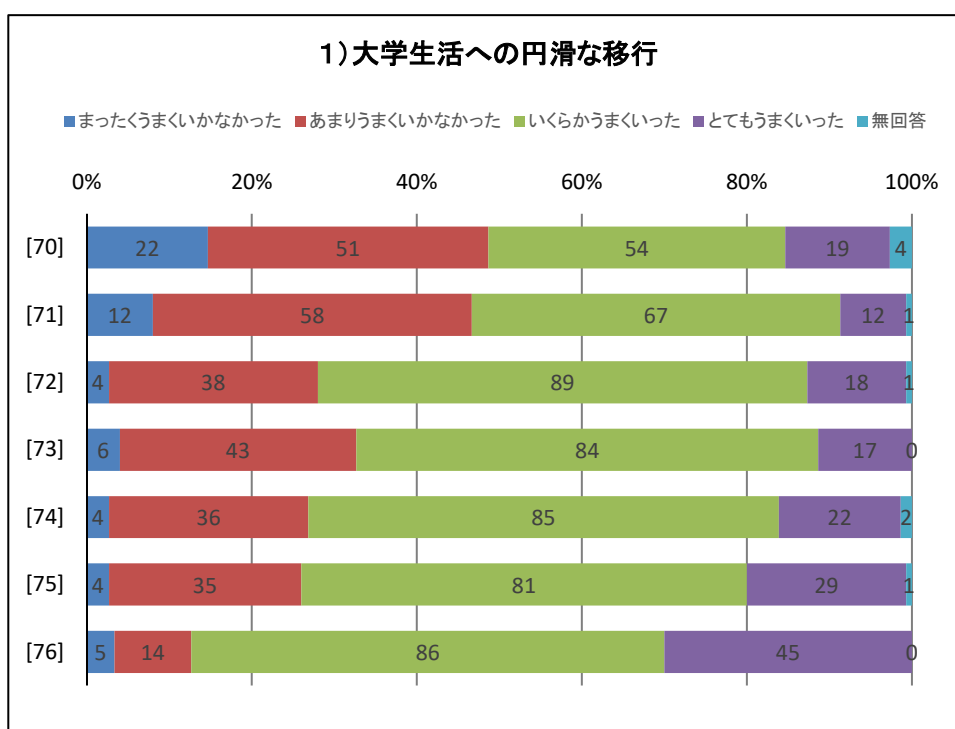
項目		人数					
		意欲的	どちらかといえば意欲的	どちらでもない	どちらかといえば意欲的でない	意欲的でない	無回答
[67]	学内での実習に意欲的に取り組んでいるか	41	53	46	5	5	0
[68]	学外での実習(臨床・臨地実習・介護実習等)に意欲的に取り組んでいるか	22	43	69	6	6	4
[69]	ボランティア活動に意欲的に取り組んでいるか	8	32	80	13	14	3



IV. 大学生活に対する考えや満足度について

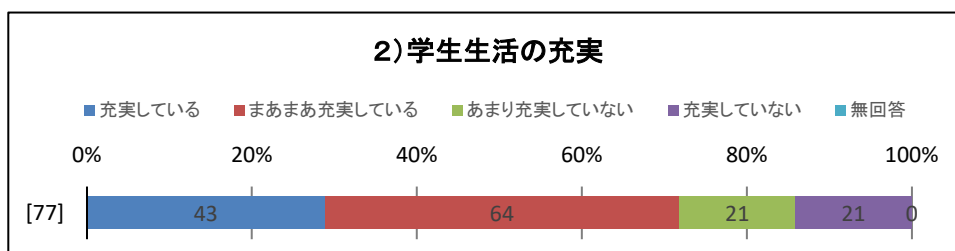
1) 大学生活への円滑な移行

項目		人数				
		まったくうまくいかなかった	あまりうまくいかなかった	いくらかうまくいった	とてもうまくいった	無回答
[70]	大学の学生向けサービスを上手に利用する	22	51	54	19	4
[71]	大学教員の学問的な期待を理解する	12	58	67	12	1
[72]	効果的に学習する技能を修得する	4	38	89	18	1
[73]	大学が求める水準に応じて学習する	6	43	84	17	0
[74]	時間を効果的に使う	4	36	85	22	2
[75]	大学教員と顔見知りになる	4	35	81	29	1
[76]	他の学生との友情を深める	5	14	86	45	0



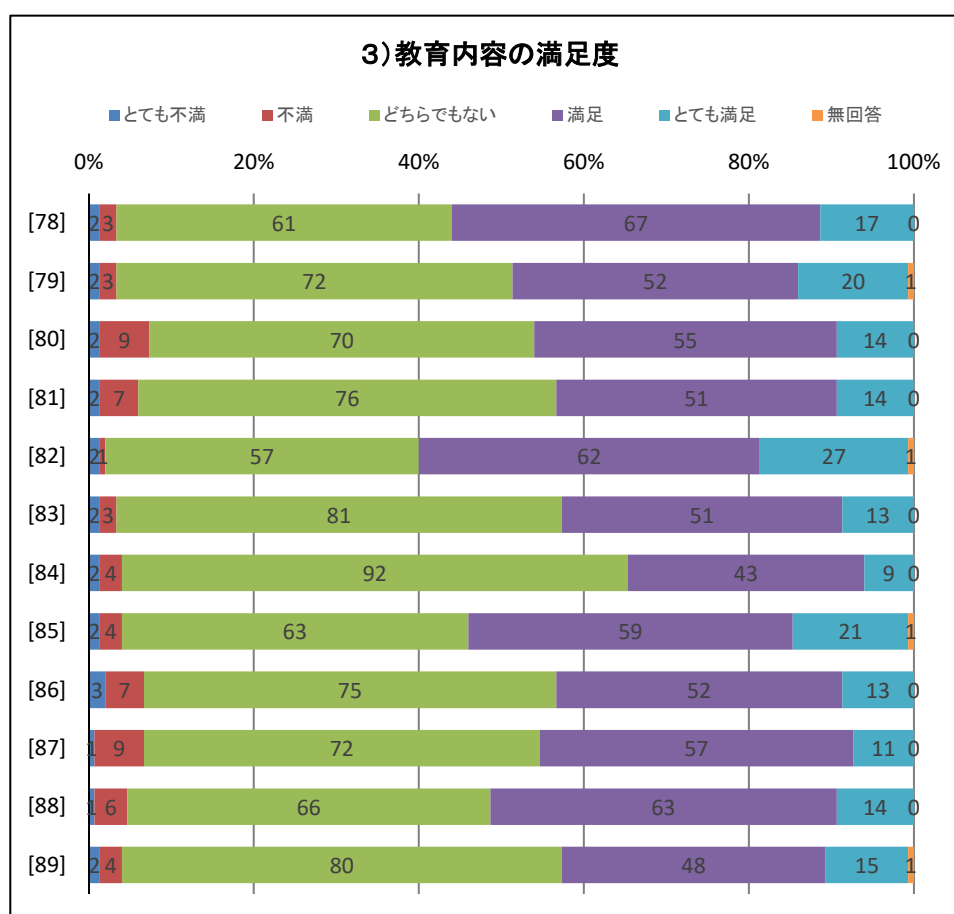
2) 学生生活の充実

項目		人数				
		充実している	まあまあ充実している	あまり充実していない	充実していない	無回答
[77]	学生生活の充実している	43	64	21	21	0



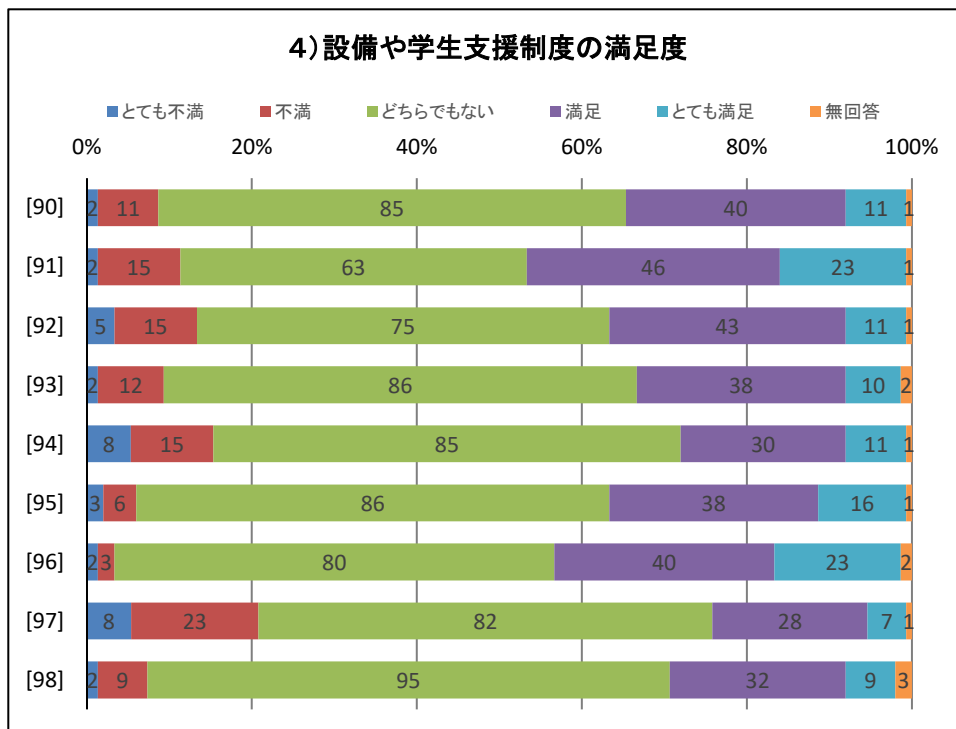
3) 教育内容の満足度

項目	人数					
	とても不満	不満	どちらでもない	満足	とても満足	無回答
[78] 専門教育あるいは所属学科の授業	2	3	61	67	17	0
[79] 所属学科の学内実習や学外実習	2	3	72	52	20	1
[80] 授業の全体的な質	2	9	70	55	14	0
[81] 日常生活と授業内容との関連	2	7	76	51	14	0
[82] 将来の仕事と授業内容との結びつき	2	1	57	62	27	1
[83] 教員と話をする機会	2	3	81	51	13	0
[84] 個別の学習指導や学習支援	2	4	92	43	9	0
[85] 他の学生と話をする機会	2	4	63	59	21	1
[86] 大学のなかでの学生同士の一体感	3	7	75	52	13	0
[87] 多様な考え方を認め合う雰囲気	1	9	72	57	11	0
[88] 大学での経験全般について	1	6	66	63	14	0
[89] 1つの授業を履修する学生数	2	4	80	48	15	1



4) 設備や学生支援制度の満足度

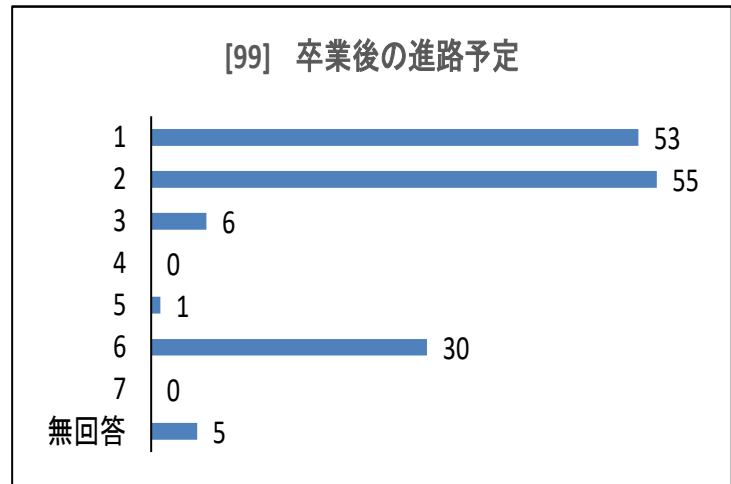
項目	人数					
	とても不満	不満	どちらでもない	満足	とても満足	無回答
[90] 図書館の設備(蔵書やレファレンスサービス:図書館員による情報提供・資料検索他)	2	11	85	40	11	1
[91] 実習室の設備や器具	2	15	63	46	23	1
[92] コンピュータの施設や設備	5	15	75	43	11	1
[93] コンピュータの訓練や援助	2	12	86	38	10	2
[94] インターネットの使いやすさ	8	15	85	30	11	1
[95] 奨学金など学費援助の制度	3	6	86	38	16	1
[96] 健康・保健サービス(心身の健康に関わる問題についての診療や相談:歯科を含む)	2	3	80	40	23	2
[97] レクリエーション施設(体育館の設備など)	8	23	82	28	7	1
[98] キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)	2	9	95	32	9	3



V. 卒業後の進路について

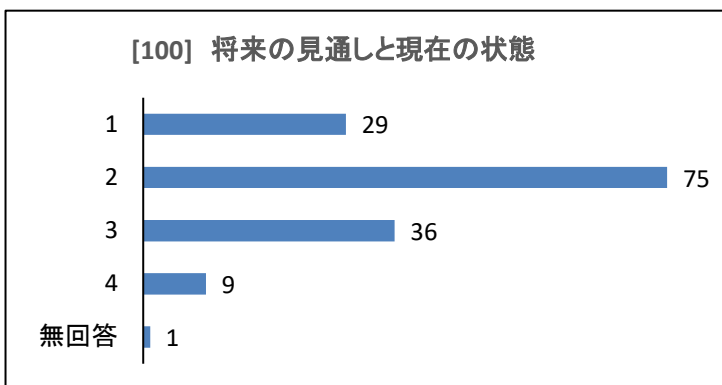
[99] 卒業後の進路予定

項目	人数	%
1 就職する	53	35.3
2 専攻科に進学する	55	36.7
3 留学する	6	4.0
4 他大学に(編)入学する	0	0.0
5 専門学校に進学する	1	0.7
6 まだわからない	30	20.0
7 その他	0	0.0
無回答	5	3.3



[100] 将来の見通しと現在の状態

項目	人数	%
1 ①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわかっているし、実行もしている	29	19.3
2 ①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわかっているが、実行は出来ていない	75	50.0
3 ①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわからない	36	24.0
4 ①将来の見通しを持っていない	9	6.0
無回答	1	0.7



1) 卒業後の進路のために、大学在学中に経験したいこと

項目	人数				
	そう 思わない	どちらか といえばそ う思わない	どちらか といえば そう思う	そう思う	無回答
[101] 専門分野の知識・技術をしっかり身につけ、国家試験に合格出来る教育を受ける	2	2	42	86	18
[102] 専門分野だけでなく、幅広い知識を身につけ視野を広げる	2	5	48	80	15
[103] 職業意識の形成につながる教育を受ける	2	3	52	77	16
[104] 学外実習施設での体験実習等を踏まえた上で、専門知識を学ぶ	2	2	54	77	15
[105] 教員が設定した特定の課題に対して、チームで取り組むプロジェクト型の授業を受ける	4	14	60	56	16
[106] 自分で課題を見つけ、自分で解決していくような訓練を受ける	3	11	68	52	15
[107] ディベート(討論)やプレゼンテーションの訓練を受ける	2	19	66	46	17
[108] 実践的で専門性のある資格を取得するためのプログラムを受ける	1	9	61	64	15
[109] レポートや論文指導により、文書作成能力を高める	2	14	67	51	16
[110] 卒業後の進路について、教職員に対して個別に相談する	3	17	53	61	15
[111] 卒業後の進路について、本学の卒業生や先輩と話を をする	3	12	59	61	15
[112] 本学の教職員以外の人と話を をする	3	26	60	43	18

